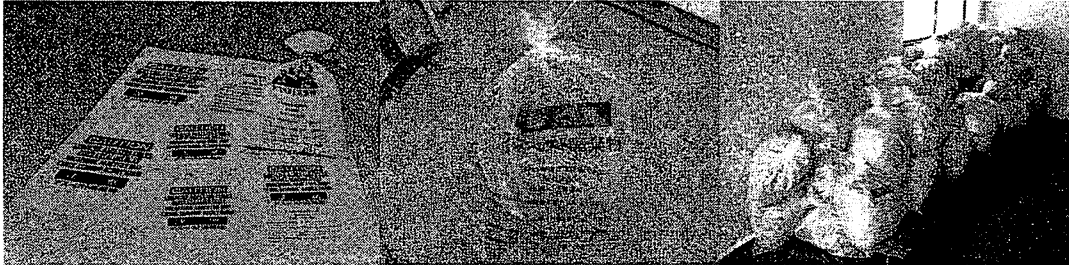


## 4. 保管

### 4.1 除去現場での保管

現場において除去後の石綿含有シール材の切断等は最小限とし、破碎にあたるような作業を実施しない。除去されたシール材は、速やかに湿潤等の飛散防止対策を施し、プラスチック袋あるいは密閉容器に保管する。石綿含有シール材廃棄物は、石綿を含有しない廃棄物と分別して保管する（図 2.6）。



特別管理産業廃棄物袋の例

二重袋詰め

除去石綿の一時保管

図 2.6 除去石綿の袋詰

<独立した個室を一時保管場所とした例>  
個室であれば施錠して、出入口外部に一時保管であることを表示する。

### 4.2 事業場での保管

排出事業者は、石綿含有シール材廃棄物が運搬されるまでの間、当該廃棄物から石綿が飛散しないように保管する。

排出事業者は、産業廃棄物が運搬されるまでの間の保管は下記のように行う。

- ①飛散しないよう、プラスチック袋で梱包した後、密閉容器に入れて保管する。
- ②他の廃棄物と分別して保管する。
- ③石綿含有シール材廃棄物の保管場所であることを表示する。
- ④必要により密閉容器内に、湿潤あるいは水封して保管する。

### 4.3 保管容器

一時保管をする容器は最終処理の方法別に対応して下記の通りとする（図 2.7）。

- 溶融による無害化処理の場合：ドラム缶等
- 最終処分場に直接埋立処理する場合：密閉容器等

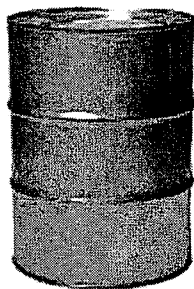


図 2.7 ドラム缶

密閉容器

<参考とした資料>

1. 建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル  
平成 17 年 8 月 9 日 編集・発行：建設業労働災害防止協会企画開発課
2. 平成 18 年度 石綿製品の代替化等促進事業報告書  
(シール材等の代替化検討に係る基本的な考え方と代替事例)  
平成 19 年 3 月 中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター
3. アスベスト含有シール材除去回収ガイドライン  
平成 19 年 3 月 30 日 特定非営利活動法人 アスベスト処理推進協議会

<建設労働災害防止協会による作業レベルの分類と作業の種類>

石綿含有シール材の場合は、通常はレベル 3 であるが、劣化状況により下記の対策が必要となる。

**建設労働災害防止協会による作業レベルの分類と作業の種類**

レベル 1：石綿含有吹付け材の除去作業、石綿等の封じ込め、囲い込み作業

レベル 2：石綿を含有する保温材、断熱材、耐火材などの除去作業

レベル 1 対応以外の石綿の封じ込め、囲い込み作業

レベル 3：レベル 1、レベル 2 以外の石綿含有建材（例えば成形板など）の除去作業



## 第3章 非石綿シール材の組立て要領

### 1. はじめに

この章では、非石綿シール材を用いてフランジ締結作業を実施する際に考慮すべき基本要領である、準備・組立て・締付方法・締付トルク・増締め・タグ付け・解体について記す。また、代表的な非石綿シール材の注意点についても記す。

本マニュアルは、現場におけるフランジ締結作業の監督者および実際に作業を行う作業員を対象としている。そのため、既にフランジやガスケットの設計・製造やガスケットの選定は完了していることを前提に、実際の締結作業の方法や注意点を重点的に記載している。材質選定やガスケットタイプ選定などの設計に関することは詳しく記載していない。

しかし、発注者や作業指示者が必ずしも適切なフランジ設計や選定を行っていない場合もある。そのような場合、どんなに丁寧に締結を行っても、フランジからの漏洩が止まらないこともある。したがって、もっぱら締結作業に関わる立場の監督や作業員でも、フランジ設計や締結技術、ガスケットの知識を身に付けることが望ましい。

なお、本章は以下の文献を主体に、その他の文献、メーカー技術資料や筆者らの経験を加味して作成されている。

JPI-8R-15-2005 「フランジ・ボルト締付管理」

JPI-7S-81-2005 「配管用ガスケットの基準」

JPI-7B-88-2000 「機器フランジ漏れ防止対策資料」

“Guidelines for safe seal usage – Flanges and Gaskets-”、ESA Publication No.009/98

“Sealing Technology –BAT guidance notes-”、ESA Publication No.014/05

### 2. 準備作業

#### 2.1 工具の準備

使用するボルト／ナットに応じた締付工具、ボルト張力を測定する為の計測器、フランジのシート面のクリーニングに用いる工具、ボルト／ナットの表面状態を手入れする工具等を準備する。

#### 2.2 ボルト／ナット／座金

ボルト／ナットは腐食で損傷することがあり、また降伏点を越えて締付けると延性を失うことがあるため、原則として再使用しないことを推奨する。再使用する場合はクリーニング後に目視検査等を行い、問題がないものを使用する。